

平成24年度JAMCA 全国統一模擬試験

〔二級ジーゼル自動車〕

平成25年1月12日

22 問題用紙

〔注意事項〕

1. 問題用紙は、試験開始の合図があるまで開いてはいけません。
2. 卓上計算機は、四則演算、平方根($\sqrt{\quad}$)、百分率(%)の計算機能だけを持つ簡易な電卓のみ使用することができます。違反した場合、失格となることがあります。
3. 答案用紙と問題用紙は別になっています。解答は必ず答案用紙に記入して下さい。
4. 答案用紙の「受験地」、「番号」、「氏名(フリガナ)」及び「生年月日」の欄は、次により記入して下さい。これらの記入がなければ失格となります。
 - (1) 答案用紙の「受験地」、「番号」欄は、受験票の数字を正確に記入するとともに、該当する数字の○を黒く塗りつぶして下さい。
 - (2) 答案用紙の「氏名(フリガナ)」及び「生年月日」の欄は、漢字は楷書で、フリガナはカタカナで、数字はアラビア数字で正確に、かつ明瞭に記入して下さい。
 - (3) 答案用紙の「性別」欄及び「生年月日」の元号欄は、該当するものに○印を記入して下さい。
5. 答案用紙の「修了した養成施設等」の欄には、該当するものの番号に○印を記入して下さい。なお、「1. (一種養成施設)」は自動車整備学校、職業能力開発校(職業訓練校)及び高等学校等で今回受験する試験と同じ種類の自動車整備士の養成課程を修了した者、「2. (二種養成施設)」は自動車整備振興会・自動車整備技術講習所において今回受験する試験と同じ種類の自動車整備士の講習を修了した者が該当し、前記以外の者は「3. (その他)」に該当します。
6. 答案用紙の解答欄は、次により記入して下さい。
 - (1) 解答は、問題の指示するところに従って、4つの選択肢の中から**最も適切なもの、又は最も不適切なもの等**を一つ選んで、解答欄の1~4の数字の下の○を黒く塗りつぶして下さい。2つ以上マークするとその問題は不正解となります。
 - (2) 所定欄以外には、マークしたり、記入したりしてはいけません。
 - (3) マークは、HBの鉛筆を使用し、黒く塗りつぶして下さい。ボールペン等には使用してはいけません。
良い例 ● 悪い例 ● ⊗ ⊙ ⊖ ●(薄い)
 - (4) 訂正する場合は、プラスチック消しゴムできれいに消して下さい。
 - (5) 答案用紙を汚したり、曲げたり、折ったりしないで下さい。
7. 試験開始後30分を過ぎれば退場することができますが、その場合は答案用紙を机の上に伏せて静かに退場して下さい。一度退場したら、その試験が終了するまで再度入場することはできません。
8. 試験会場から退場するとき、問題用紙は持ち帰って下さい。

【No. 1】 ジーゼル・エンジンの性能の用語に関する記述として、適切なものは次のうちどれか。

- (1) 体積効率は、一般に0.9程度である。
- (2) 空気過剰率は、全負荷(最大噴射量)時には2.5以上で、低速で負荷が小さい(噴射量が少ない)ときには1.2～1.4程度である。
- (3) ネット軸出力とは、エンジンの運転に必要な付属装置だけを装着して、エンジン試験台で測定した軸出力をいう。
- (4) 熱損失とは、冷却水へ失われる冷却損失と排気ガスにもち去られる排気損失の二つだけである。

【No. 2】 ジーゼル・エンジンの排気ガスに関する記述として、適切なものは次のうちどれか。

- (1) マフラの詰まりは、黒煙の発生原因とはならない。
- (2) NO_x(窒素酸化物)は、不完全燃焼時に多く発生する。
- (3) 排気ガスの大部分を占める成分は、CO(一酸化炭素)、HC(炭化水素)及びNO_xである。
- (4) サルフェートとは、燃焼中の硫黄分が酸化して生成された硫黄化合物の総称である。

【No. 3】 ピストンに関する次の文章の(イ)～(ロ)に当てはまるものとして、下の組み合わせのうち、適切なものはどれか。

オフセット・ピストンは、ピストン・ヘッドを上としたとき、ピストン・ピンの位置をピストン中心に対して、(イ)へわずかにオフセットしたもので、ピストンの(ロ)防止の効果がある。

- | (イ) | (ロ) |
|----------|-------|
| (1) 右又は左 | しゅう動音 |
| (2) 右又は左 | スラップ音 |
| (3) 上又は下 | スラップ音 |
| (4) 上又は下 | しゅう動音 |

【No. 4】 直列4気筒4サイクル・エンジンの振動低減に関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

- (1) トーショナル・ダンパは、クランクシャフトのねじり振動を減衰する。
- (2) バランス・シャフトは、クランクシャフトの1/2の回転速度で回転している。
- (3) バランス・シャフトは、ピストンやコンロッドの二次慣性力を打ち消している。
- (4) クランクシャフトに設けられているバランス・ウェイトは、ピストンやコンロッドの一次慣性力を低減している。

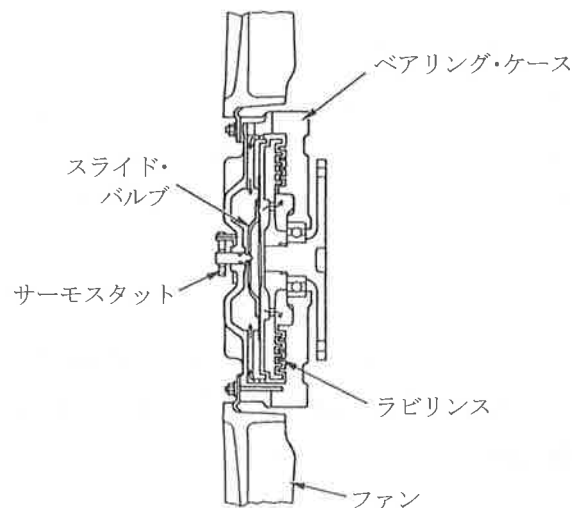
【No. 5】 エンジン・オイル及び潤滑装置に関する記述として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) オイル上がり等でエンジン・オイルが燃焼室で燃焼すると、排気ガスは青白色煙になる。
- (2) リリーフ・バルブは、オイル・ギャラリ部に設けられ、オイル・ギャラリの油圧が規定値を超えると開く。
- (3) バイパス・バルブは、オイル・フィルタやオイル・クーラ部に設けられ、オイル・フィルタやオイル・クーラが詰まると開く。
- (4) エンジン・オイルは、そのオイル自体の温度が $125\text{ }^{\circ}\text{C}\sim 130\text{ }^{\circ}\text{C}$ 以上になると急激に潤滑性が失われる。

【No. 6】 図に示す粘性式ファン・クラッチの作動に関する次の文章の(イ)～(ロ)に当てはまるものとして、下の組み合わせのうち、**適切なもの**はどれか。

ラジエータ通過後の空気温度が低温から上がって規定値以上になると、サーモスタットと一体のスライド・バルブが流入口を(イ)。その結果、粘性油が遠心力の作用によってラビリンス内を満たし、回転トルクがベアリング・ケースに伝わりファンの回転速度は(ロ)なる。

- | (イ) | (ロ) |
|---------|-----|
| (1) 閉じる | 高く |
| (2) 閉じる | 低く |
| (3) 開く | 高く |
| (4) 開く | 低く |



【No. 7】 電子制御式分配型インジェクション・ポンプのフェイルセーフ機能に関する記述として、**適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) 回転速度センサの信号系統が断線又は短絡した場合には、エンジン回転速度を一定値(例: $1,000\text{min}^{-1}$)にし、エンジンの出力を制限する。
- (2) アクセル位置センサの信号系統が断線又は短絡した場合には、エンジン回転速度を一定値(例: $1,000\text{min}^{-1}$)にして、エンジンを運転する。
- (3) 水温センサの信号系統が断線又は短絡した場合には、オーバヒート防止のため、燃料の噴射を停止する。
- (4) ブースト圧センサの信号系統が断線又は短絡した場合には、ブースト圧を最大値として、エンジンを運転する。

【No. 8】 電子制御式インジェクション・ポンプの燃温センサに関する次の文章の(イ)～(ロ)に当てはまるものとして、下の組み合わせのうち**適切なもの**はどれか。

エンジンの出力は燃料の比重で変化するため、燃料の温度が高いときは比重が(イ)分、噴射量(体積)を(ロ)必要があり、このような補正を行うために、燃温センサから燃料の温度の情報を得ている。

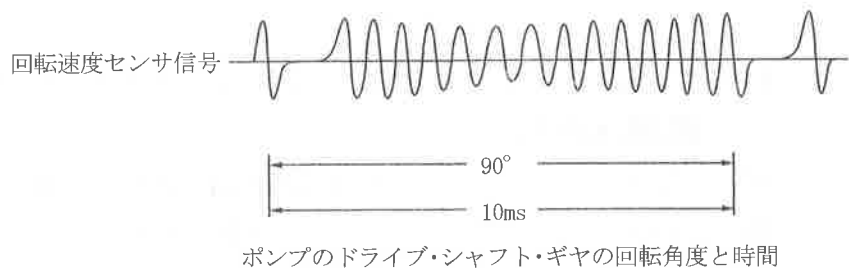
- | | (イ) | (ロ) |
|-----|-----|-----|
| (1) | 小さい | 減らす |
| (2) | 小さい | 増やす |
| (3) | 大きい | 減らす |
| (4) | 大きい | 増やす |

【No. 9】 電子制御式列型インジェクション・ポンプ及びセンサに関する記述として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) アクセル位置センサは、アクセル・ペダルの踏み込み量を電圧に置き替えて検出している。
- (2) エンジンの高速回転域では、タイミング・スリーブが下方にあり、プリストロークが小さいので噴射時期が早くなる。
- (3) プランジヤが一定量の燃料を圧送する場合、プリストロークが大きいほど送油率が高くなり、最大噴射圧力も高くなる。
- (4) 噴射量の増減は、プリストローク・アクチュエータがコントロール・ロッドを移動させて行っている。

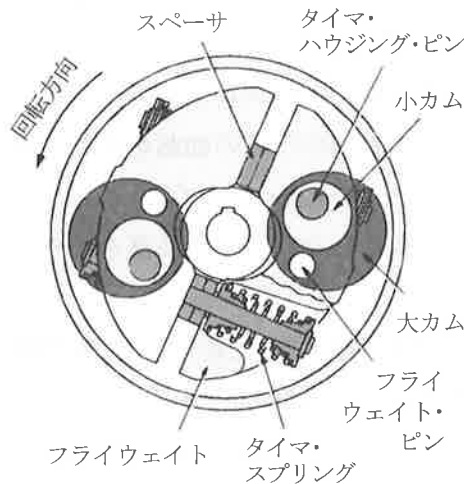
【No. 10】 4サイクル・エンジン用電子制御式分配型インジェクション・ポンプで用いられている回転速度センサの波形が下図のような場合、このときのエンジン回転速度として、**適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) 500min^{-1}
- (2) 750min^{-1}
- (3) 1500min^{-1}
- (4) 3000min^{-1}



【No. 11】 図に示す偏心カム型タイマに関する次の文章の()に当てはまるものとして、下の組み合わせのうち、適切なものはどれか。

エンジン回転速度が上昇し、(イ)の遠心力がタイマ・スプリングのばね力より大きくなると(イ)が外側にリフトする。この結果、(ロ)に挿入されている大カムが回転方向へ移動し、同時に(ロ)が回転方向に回転するため、噴射時期は早くなる。



(イ)

- (1) スペーサ
- (2) タイマ・スプリング
- (3) フライ・ウエイト
- (4) 大カム

(ロ)

- (1) フライ・ウエイト
- (2) フライ・ウエイト・ピン
- (3) タイマ・ホルダ
- (4) タイマ・ハウジング

【No. 12】 慣性過給装置に関する記述として、適切なものは次のうちどれか。

- (1) 一つの吸入行程で発生する正圧波及び負圧波による吸入効果を脈動効果という。
- (2) 吸入行程時に発生する圧力波を利用し、吸入空気の慣性効果と脈動効果により主に低速回転域の吸入空気量を増大させる。
- (3) 吸入完了後に吸気管内に残留していた正圧波及び負圧波が、次の吸入行程時に作用する吸入効果を慣性効果という。
- (4) インレット・バルブが開く直前又は閉じる直前に吸気管内の正圧波が重なれば吸入空気量は減少し、逆に負圧波が重なれば増大する。

【No. 13】 電子制御式ATのコントロール・バルブの機能に関する記述として、**適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) パイロット・バルブは、オイル・ポンプで発生する油圧を走行状態に応じた最適な圧力（ライン・プレッシャ）に調整する。
- (2) シャトル・シフト・バルブは、運転席のシフト・レバーを操作することにより作動し、レバーの動きに応じてライン・プレッシャをクラッチなどに導き、P, R, N, D, 2, 1 の各レンジの切り替えを行っている。
- (3) プレッシャ・レギュレータ・バルブは、スロットル・バルブ開度により 3-2 タイミング制御及びオーバラン・クラッチ制御のための油路を切り替えている。
- (4) オーバラン・クラッチ・コントロール・バルブは、4 速でブレーキ・バンド作動時にオーバラン・クラッチが同時に作動しないように油路を切り替えている。

【No. 14】 トルク・コンバータの性能に関する記述として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) 速度比がゼロのときの伝達効率 η は 100 %である。
- (2) カップリング・レンジにおけるトルク比は、1 である。
- (3) 速度比は、タービン軸の回転速度をポンプ軸の回転速度で除して求めることができる。
- (4) トルク比は、速度比がゼロのとき最大である。

【No. 15】 前進4段のロックアップ機構付き電子制御式ATに用いられる部品に関する記述として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) シフト・ソレノイド A 及び B は、コントロール・ユニットからの出力信号により、走行状態に見合った変速点及びギヤの位置を制御するように、各シフト・バルブの切り替えを行う。
- (2) ライン・プレッシャ・ソレノイドは、コントロール・ユニットからの出力信号により、プレッシャ・レギュレータ・バルブを制御している。
- (3) エンジン・ブレーキ制御は、インヒビタ・スイッチ及びスロットル・ポジション・センサの信号を用いて制御が行われる。
- (4) インヒビタ・スイッチは、スロットル・ポジション・センサの予備信号として用いられる。

【No. 16】 エア・サスペンションに関する記述として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) 荷重の増減に関係なく、ボデーの上下固有振動数をほぼ一定に保つことができる。
- (2) ベローズ型エア・スプリングのベローズには2～4山のものがあり、変形を防ぐために谷部にリングを入れてある。
- (3) エア・タンクの圧力が何らかの原因で規定以下になった場合は、セーフティ・バルブが開いて、エア・ブレーキ系統のエアの圧力が低下するのを防止している。
- (4) レベリング・バルブのコネクティング・ロッドの長さを変えることにより、エア・スプリングの高さの調整ができる。

【No. 17】 インテグラル型パワー・ステアリング(ロータリ・バルブ式)に関する記述として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) 操舵時は、トーション・バーのねじれ角に応じてスプール・バルブが回転し、油路を切り替える。
- (2) かじ取り感覚(ハンドルにかかる反力)は、トーション・バーのねじれを反力として利用することで得ている。
- (3) 操舵時に油圧が発生していないときは、スタブ・シャフトがウォーム・シャフトのストップ部に当たり直接ウォーム・シャフトを回転させる。
- (4) 直進時は、スプール・バルブ(ロータ)とスリーブの位置関係が中立にあり、パワー・シリンダへの油路は閉じている。

【No. 18】 反力制御式のラック・ピニオン型電子制御式パワー・ステアリング(ロータリ・バルブ式)に関する記述として、**適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) 反力制御式では、油圧特性をポンプ回転速度に応じて変化させて操舵力を変えている。
- (2) 油圧制御部のソレノイドに、コントロール・ユニットからエンジン回転速度に応じた電流が送られると、ソレノイド・プランジャには、エンジン回転速度に応じた推力が発生する。
- (3) 油圧制御部は、ソレノイドと油圧制御バルブなどで構成されている。
- (4) 中高速走行時に車速が増加すると、油圧制御部のソレノイドへの電流も増加し、ソレノイド・プランジャへの推力が増加する。

【No. 19】 タイヤの走行音に関する記述として、**適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) パターン・ノイズは、急発進、急制動、急旋回などのときに発するキー音をいう。
- (2) パターン・ノイズは、タイヤのサイド・ウォール部が路面に対して局部的に振動を起こすことにより発生する。
- (3) スキールは、急発進などでタイヤのトレッドが路面に対して局部的に振動を起こすことにより発生する。
- (4) スキールは、トレッド・パターンの山または谷が1秒間に通過する数と同じ周波数の音から成っている。

【No. 20】 タイヤの構造・機能に関する記述として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) 静荷重半径とは、規定の空気圧を充填し、静止した状態で平板に対し垂直に置き、規定の荷重を加えた時のタイヤの軸中心から接地面までの最短距離をいう。
- (2) タイヤに荷重が加わって発生する「たわみ」は、縦たわみ、幅たわみ、横たわみの3種類がある。
- (3) タイヤに1mmの縦たわみを与えるために必要な静的縦荷重を静的縦ばね定数といい、この値が大きいほど乗り心地が良い。
- (4) タイヤ自身に寸法的な狂いがなくても、タイヤとリムの組み付け不良などにより振れが生じることがある。

【No. 21】 独立懸架式サスペンションのホイール・アライメントに関する記述として、**適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) プラス・キャンバの場合、キャンバ・スラストはキャンバ角が大きくなるに伴って減少する。
- (2) キング・ピン中心線の延長線が路面と交差する点を、キャスト・トレールという。
- (3) 自動車が直進する場合に直進方向を決定する要因は、前後左右輪のトーである。
- (4) ボール・ナット型ステアリングの場合、左右のタイロッドの長さを異なって調整しても、直進走行時における、ハンドルの中心位置の狂いは生じない。

【No. 22】 エア・油圧式ブレーキに関する記述として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) エアの圧力が規定値以下になると、ロー・プレッシャ・インジケータが作動し、圧力が不十分なことを警告する。
- (2) エア・油圧式ブレーキは、油圧をブレーキ・バルブで制御して制動倍力装置に送り、この油圧を圧縮空気に変換させて、制動力を得るブレーキである。
- (3) ウェット・タンク(エア・タンク)には、タンク内の空気圧力が規定限度を超えたとき、自動的に圧縮空気を大気中に放出するためのセーフティ・バルブが取り付けられている。
- (4) ブレーキ・バルブ一体型のブレーキ・ペダルの遊びの調整は、ブレーキ・ペダルの下部のアジャスト・スクリューで行う。

【No. 23】 フレーム及びボデーに関する記述として、**適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) モノコック・ボデーは、衝撃により破損した場合、構造が単純なために修理は容易である。
- (2) フレームのサイド・メンバを補強する場合、必ずフレームの厚さより厚い補強材を使用する。
- (3) 乗用車のボデーには、一般に一体構造のもの(モノコック・ボデー)が用いられているため、曲げ及びねじれ剛性が優れている。
- (4) モノコック・ボデーは、サスペンション等からの振動や騒音が伝わりにくいので、防音及び防振性に優れている。

【No. 24】 電子制御式ATの故障原因探究に関する記述として、**適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) ATに係る故障探究を実施する前に、動力源であるエンジンに不具合がないことを確認する必要がある。
- (2) 自己診断システムが異常コードを表示した場合、AT本体が故障と考えられるので、車載状態での分解点検は必要なく、AT本体を取り外し、分解点検をしなければならない。
- (3) 電子制御システムでフェイルセーフ機能が働いている場合、故障は解消され不具合現象は発生しない。
- (4) 自己診断コードを確認したところ、ライン・プレッシャ・ソレノイド系統を表示したので、ライン・プレッシャ・ソレノイドの電気系統の断線だけが考えられる。

【No. 25】 故障原因探究に関する記述として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) 現象の確認においては、現象確認の後に推定不具合の判定を行う必要から、現象の再現確認後、計器類の取り付けなどを行う。
- (2) 再発の防止のために、整備後、不具合発生状況と類似した条件で、故障現象が出ないかを確認する。
- (3) 電子制御システムでフェイルセーフ機能が働いた場合、実際に不具合が発生しても故障現象として現れない場合がある。
- (4) 原因の推定では、“なぜ”そのような現象になったか原因を確かめ、原因が故障か又は取り扱いに起因するものかを確認する。

【No. 26】 ジーゼル・エンジンの予熱装置に関する記述として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) セラミック型グロー・プラグは、発熱部にセラミックを用いているため、発熱部は、始動後も高温を維持する。
- (2) 一般にエア・ヒータは、直接噴射式エンジンに使用され、グロー・プラグは渦流室式エンジン及び一部の直接噴射式エンジンに使用される。
- (3) 電熱式インテーク・エア・ヒータの点検は、吸入空気温度に応じて、エア・ヒータが機能することを確認する。
- (4) 自己温度制御型グロー・プラグは、外側を保護金属管で覆い、その内側にブレーキ・コイルとラッシュ・コイルを直列に接続した構造である。

【No. 27】 スタータに関する次の文章の(イ)～(ロ)に当てはまるものとして、下の組み合わせのうち**適切なもの**はどれか。

1. スタータの無負荷特性テストは、定格容量のバッテリーを用いてピニオンに負荷をかけない状態で電圧を加えそのときの(イ)が規定値を示すことを確認する。
2. アーマチュア・コイルの断線は、サーキットテスタを用いて(ロ)の導通を確かめることで判断できる。

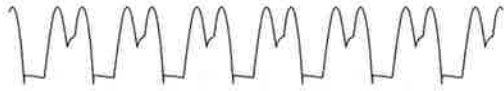
(イ)

(ロ)

- | | |
|-------------|--------------------|
| (1) 電圧と電流 | コンミュテータの各セグメント間 |
| (2) 電流と回転速度 | コンミュテータとアーマチュア・コア間 |
| (3) 電圧と回転速度 | コンミュテータとアーマチュア・コア間 |
| (4) 電流と回転速度 | コンミュテータの各セグメント間 |

【No. 28】 スター結線のオルタネータで、ダイオードが1個断線しているB端子の電圧波形として、適切なものは次のうちどれか。

(1)



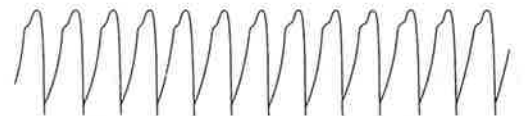
(2)



(3)



(4)



【No. 29】 インジケータ・ランプとサーミスタ(負特性)を用いたフェューエル・レベル・インジケータでフェューエル・タンク内の燃料が多いときの記述として、適切なものは次のうちどれか。

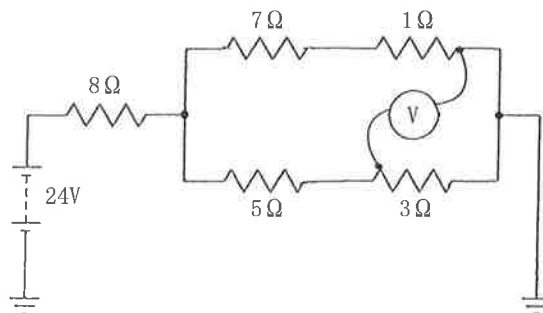
- (1) サーミスタの温度が高く抵抗が大きいため、インジケータ・ランプは消灯する。
- (2) サーミスタの温度が低く抵抗が小さいため、インジケータ・ランプは消灯する。
- (3) サーミスタの温度が高く抵抗が小さいため、インジケータ・ランプは消灯する。
- (4) サーミスタの温度が低く抵抗が大きいため、インジケータ・ランプは消灯する。

【No. 30】 鉛バッテリーに関する記述として、適切なものは次のうちどれか。

- (1) 電解液の比重を測ることによって放電量を知ることができる。
- (2) 放電率を大きくすると、容量は小さくなる。
- (3) 電解液の比重は、温度が高いと電解液容積が増加するため大きくなる。
- (4) 電解液温度が 50℃未満においては、電解液温度が高くなると、容量は小さくなる。

【No. 31】 図に示す電気回路において、電圧計Vが示す値として、適切なものは次のうちどれか。
ただし、バッテリー及び配線の抵抗はないものとし、電圧計Vの内部抵抗は無限大とする。

- (1) 2V
- (2) 3V
- (3) 4V
- (4) 6V



【No. 32】 非鉄金属に関する記述として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) 銅は、電気や熱の伝導が銀に次いで高い。
- (2) アルミニウムは、鉄に比べて熱の伝導率が高く、熱が伝わりやすい。
- (3) ケルメットは、銅と亜鉛の合金であり、軸受けに使用されている。
- (4) 亜鉛は空気中で表面に酸化被膜をつくるため、鋼板の表面にメッキして錆止めとして使用される。

【No. 33】 軽油(燃料)に関する記述として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

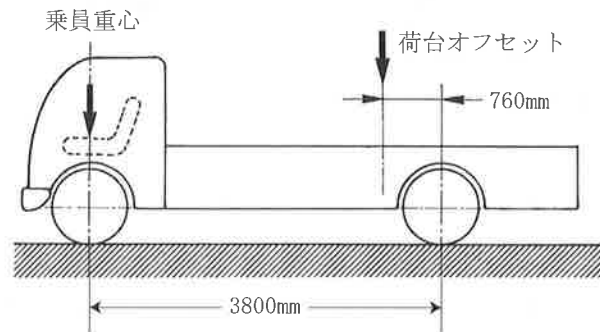
- (1) 硫黄分が燃焼すると亜硫酸ガスが発生する。
- (2) セタン価の低い(小さい)ものほど着火性が良く、ジーゼル・ノックを起こしにくい。
- (3) セタン価は、一般に 50 ～ 55 程度である。
- (4) 軽油の種類・品質は JIS 規格に決められており、一般には 2 号が用いられ、寒冷地では 3 号又は特 3 号が用いられている。

【No. 34】 測定機器及び工具に関する記述として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) ジーゼル・エンジン用のコンプレッション・ゲージは、一般に 0 ～ 7MPa の測定範囲のものが用いられる。
- (2) ノズル・テストは、インジェクション・ノズルの燃料噴射圧力と噴霧状態の点検などに用いる。
- (3) フィーラ・ゲージ(シックネス・ゲージ)は、シリンダとピストンのすき間の測定などに用いる。
- (4) リーマは、シリンダ・ヘッドやシリンダ・ブロックの表面仕上げに用いる。

【No. 35】 下表の諸元を有する図のようなトラックについて、最大積載時の前軸荷重として、**適切なもの**は次のうちどれか。ただし、乗員1人当たりの荷重は550Nで、その荷重は前軸上の中心に作用し、また、積載物による荷重は荷台に等分布にかかるものとして計算しなさい。

ホイール・ベース	3800mm
空車時前軸荷重	18000N
空車時後軸荷重	17000N
最大積載荷重	40000N
乗車定員	2名
荷台オフセット	760mm



- (1) 26000N
- (2) 27100N
- (3) 47900N
- (4) 49000N

【No. 36】 「道路運送車両法」に照らし、点検整備記録簿に記載しなければならない事項として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) 点検の年月日
- (2) 点検の概要
- (3) 整備の概要
- (4) 整備を完了した年月日

【No. 37】 「自動車点検基準」に規定された{自家用貨物自動車等の定期点検基準}のうち、6月ごとに行なう制動装置の点検項目として、**適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) 倍力装置のエア・クリーナの詰まり
- (2) ブレーキ・ディスクとパッドとのすき間
- (3) ホース及びパイプの漏れ、損傷及び取付状態
- (4) ブレーキ・シューの摺動部分及びライニングの摩耗

【No. 38】 「道路運送車両法」に照らし、整備命令に関する次の文章の()に当てはまるものとして、**適切なもの**は次のうちどれか。

地方運輸局長は、自動車保安基準に適合しなくなるおそれがある状態または適合しない状態にあるときは、()に対し、保安基準に適合しなくなるおそれをなくするため、または、保安基準に適合させるために必要な整備を行うべきことを命ずることができる。

- (1) 当該自動車の使用者
- (2) 当該自動車の所有者
- (3) 整備を実施した分解整備事業者
- (4) 整備を実施した自動車整備士

【No. 39】 「道路運送車両の保安基準」又は「道路運送車両の保安基準の細目を定める告示」に照らし、次の文章の()に当てはまるものとして、下の組み合わせのうち**適切なもの**は次のうちどれか。

番号灯は、夜間後方(イ)の距離から自動車登録番号標、臨時運行許可番号標、回送運行許可番号標又は、車両番号標の数字等の表示を確認できるものであること。番号灯の灯光の色は、(ロ)であること。

- | (イ) | (ロ) |
|---------|---------|
| (1) 10m | 白色 |
| (2) 10m | 白色又は淡黄色 |
| (3) 20m | 白色 |
| (4) 20m | 白色又は淡黄色 |

【No. 40】 「道路運送車両の保安基準」及び「道路運送車両の保安基準の細目を定める告示」に照らし、巻込防止装置に関する次の文章の(イ)及び(ロ)に当てはまる数値の組み合わせとして、**適切なもの**は次のうちどれか。

車両総重量20トンの貨物自動車(平成19年7月製作)に備える巻込防止装置は、空車状態において、その下縁の高さが地上(イ)mm以下、その上縁の高さが地上(ロ)mm以上となるように取付られていること。

- | (イ) | (ロ) |
|---------|-----|
| (1) 450 | 600 |
| (2) 450 | 650 |
| (3) 550 | 600 |
| (4) 550 | 650 |

22 答 案 用 紙 (2 級ジーゼル)

受験地	回 数		種 類		番 号				生 年 月 日				フリガナ			
									元号	年	月	日	氏	名		
	1	3	2	2												
①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	③昭和 ④平成	①	①	①	①	修了した養成施設等 ① 一種養成施設 ② 二種養成施設 ③ その他	
②	②	●	①	①	①	①	①	①	②		②	②	②			
③	③	②	②	●	●	②	②	②	③		③	③	③			
④	④	③	●	③	③	③	③	③	④		④	④	④			
⑤	⑤	④	④	④	④	④	④	④	⑤		⑤	⑤	⑤			
⑥	⑥	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑥		⑥	⑥	⑥			
⑦	⑦	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑦		⑦	⑦	⑦			
⑧	⑧	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑧		⑧	⑧	⑧			
⑨	⑨	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑨		⑨	⑨	⑨			

No.1	1	2	3	4
	○	○	○	○
No.2	1	2	3	4
	○	○	○	○
No.3	1	2	3	4
	○	○	○	○
No.4	1	2	3	4
	○	○	○	○
No.5	1	2	3	4
	○	○	○	○

No.21	1	2	3	4
	○	○	○	○
No.22	1	2	3	4
	○	○	○	○
No.23	1	2	3	4
	○	○	○	○
No.24	1	2	3	4
	○	○	○	○
No.25	1	2	3	4
	○	○	○	○

No.6	1	2	3	4
	○	○	○	○
No.7	1	2	3	4
	○	○	○	○
No.8	1	2	3	4
	○	○	○	○
No.9	1	2	3	4
	○	○	○	○
No.10	1	2	3	4
	○	○	○	○

No.26	1	2	3	4
	○	○	○	○
No.27	1	2	3	4
	○	○	○	○
No.28	1	2	3	4
	○	○	○	○
No.29	1	2	3	4
	○	○	○	○
No.30	1	2	3	4
	○	○	○	○

No.11	1	2	3	4
	○	○	○	○
No.12	1	2	3	4
	○	○	○	○
No.13	1	2	3	4
	○	○	○	○
No.14	1	2	3	4
	○	○	○	○
No.15	1	2	3	4
	○	○	○	○

No.31	1	2	3	4
	○	○	○	○
No.32	1	2	3	4
	○	○	○	○
No.33	1	2	3	4
	○	○	○	○
No.34	1	2	3	4
	○	○	○	○
No.35	1	2	3	4
	○	○	○	○

No.16	1	2	3	4
	○	○	○	○
No.17	1	2	3	4
	○	○	○	○
No.18	1	2	3	4
	○	○	○	○
No.19	1	2	3	4
	○	○	○	○
No.20	1	2	3	4
	○	○	○	○

No.36	1	2	3	4
	○	○	○	○
No.37	1	2	3	4
	○	○	○	○
No.38	1	2	3	4
	○	○	○	○
No.39	1	2	3	4
	○	○	○	○
No.40	1	2	3	4
	○	○	○	○

注 意 事 項

1. 所定欄以外には、マークしたり、記入したりしてはいけません。
2. マークは、HBの鉛筆を使用し、黒く塗りつぶして下さい。
3. 訂正する場合は、プラスチック消しゴムできれいに消して下さい。
4. この答案用紙を汚したり、曲げたり、折ったりしないで下さい。

良い例 ●
 悪い例 ○ ⊗ ⊕ ⊖ ● (薄い)